

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4-IV-8

4-IV-8

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ピーク時の宿泊施設確保に向けた本土側との連携
節	IV.ホスピタリティの醸成	事業主体	佐渡観光交流機構
事業(施策)名	8 宿泊施設連携体制の構築	関連団体	新潟市広域観光課、長岡市観光企画課、上越市観光交流推進課、佐渡市観光振興課、県観光協会
事業実施期間	H28～R4		
事業概要	【事業目的】	○ ピーク時の宿泊施設不足への対応として、佐渡と新潟本土を繋ぐ地域を中心に県内全域での連携を図る。	
	【事業内容】	○ 本土側の関係機関と連携を図り、島内の宿泊予約状況を随時確認できる情報共有体制を構築する。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 新潟観光コンベンション協会との情報共有体制を引き続き構築する。	
	【R2年度実績】	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐渡クリーン認証制度を開始し、島内宿泊施設、観光施設、飲食店など286施設より加盟していただき、観光で佐渡を訪れたお客様に安心して滞在していただけるよう周知をした。 ● トキめき佐渡・にいがた観光圏事業により、モニターツアーを開催した。(実施日: 令和2年11月28日～30日) ● 今年度取り組んだ上記の取り組みについて、新潟観光コンベンション協会と情報共有を図った。 	
課題・今後の取組	【課題】	■ コロナ禍での受入体制を整えるとともに、引き続き本土側関係機関との情報共有体制を維持する必要がある。	
	【今後の取組】	■ アフターコロナ後にお客様に安心して滞在していただけるよう、佐渡クリーン認証対象施設と連携しながら受入体制を整えていく。	
事業評価	【事業の達成度】	[a . b . c]	○ 計画どおり目標を達成できたことからBとした。
	【事業実施の効果】	[a . b . c]	
	【総合評価】	[A . B . C]	

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。